

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2006年9月)

発表日2006年11月15日(水)

～予想を下回るマイナス。今後の消費の回復に注目～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 結城 良彦
TEL : 03-5221-4573

(単位: %)

		第3次産業活動指数												
		前期比		前年比		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	サービス業
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
05	1-3月	1.2	2.1	3.7	▲1.6	0.4	1.5	1.6	▲0.2	2.1	0.7	2.1		
	4-6月	0.2	1.9	▲0.9	0.9	1.2	▲0.2	▲0.5	0.9	▲0.1	▲0.1	0.3		
	7-9月	0.4	2.2	0.0	▲0.7	▲0.1	▲0.2	3.0	0.7	0.0	0.0	0.6		
	10-12月	1.1	2.6	3.6	2.1	▲0.5	1.1	4.4	1.1	0.9	0.6	▲0.2		
06	1-3月	0.3	2.0	▲0.7	▲1.3	0.6	0.6	▲1.1	▲0.7	1.2	0.9	0.6		
	4-6月	0.6	2.6	▲0.8	1.2	0.5	0.8	▲1.0	0.6	0.6	▲0.2	1.1		
	7-9月	▲0.7	0.5	▲0.7	▲2.4	0.2	▲0.9	▲3.3	0.5	0.0	0.2	0.4		
05	1月	1.6	3.1	3.5	▲2.8	0.5	4.1	2.5	▲0.6	▲0.5	0.8	1.3		
	2月	▲0.7	1.5	2.0	0.8	▲0.5	▲2.4	▲0.7	0.3	▲0.6	▲0.5	▲0.2		
	3月	▲0.4	2.0	▲0.7	▲1.2	1.9	▲2.2	▲0.2	▲1.2	0.0	0.5	▲0.5		
	4月	1.0	1.9	▲0.2	1.0	0.3	2.6	0.2	1.1	0.3	▲0.1	0.8		
	5月	▲0.8	1.9	▲2.1	▲1.0	▲0.8	▲1.0	▲0.3	0.8	▲0.4	▲0.2	▲0.9		
	6月	0.6	1.9	1.8	3.4	1.2	0.4	▲0.3	0.1	0.1	▲0.3	1.5		
	7月	▲0.3	1.3	▲3.2	▲2.9	▲0.6	0.1	1.1	▲0.2	▲0.2	0.1	▲0.4		
	8月	1.1	3.2	3.9	1.0	0.3	0.7	2.5	1.1	0.0	0.6	0.7		
	9月	▲0.7	2.0	0.6	▲0.8	▲0.6	▲2.1	1.3	▲0.5	0.9	▲0.7	▲0.5		
	10月	1.0	3.2	0.4	4.6	▲0.4	1.6	1.5	0.9	0.2	0.0	0.0		
	11月	0.3	2.7	▲0.4	▲3.1	0.3	0.9	1.0	▲0.2	▲0.5	0.7	0.4		
	12月	0.0	2.2	5.3	▲0.6	0.1	0.4	1.2	0.6	1.6	1.2	▲1.2		
06	1月	1.5	2.3	▲2.6	2.9	0.2	3.1	0.0	▲0.3	▲1.0	0.7	1.9		
	2月	▲1.4	2.5	▲1.5	▲2.8	▲0.8	▲3.5	▲1.9	▲1.3	1.6	▲2.0	0.7		
	3月	▲1.1	1.2	▲0.8	▲2.3	2.3	▲1.9	▲2.9	0.0	0.6	1.8	▲2.9		
	4月	1.6	2.1	2.5	3.2	▲1.4	2.9	2.2	1.0	▲0.1	▲1.9	2.3		
	5月	0.7	3.6	▲2.5	▲0.3	1.0	0.8	▲0.5	0.1	0.4	2.6	1.6		
	6月	▲0.8	2.0	▲1.3	2.6	0.0	▲0.3	▲0.9	0.0	▲1.3	▲1.6	▲1.5		
	7月	▲0.3	2.0	▲1.6	▲2.7	▲0.5	▲0.4	▲1.1	0.1	▲0.3	0.8	1.0		
	8月	0.4	1.2	6.0	▲0.5	1.3	0.6	▲1.4	0.2	1.0	▲1.1	▲0.3		
	9月	▲1.3	0.9	▲3.8	▲2.9	▲1.3	▲3.1	▲1.7	0.7	1.0	1.1	0.2		

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○ 第3次産業活動指数：前月比▲1.3% 事前予想を下回るマイナス

9月の第3次産業活動指数は前月比▲1.3%と2ヶ月ぶりのマイナスになり、市場予想（コンセンサス：同▲0.6%、レンジ▲1.5%～+0.7%）を大きく下回る結果であった。主要11業種のうち、マイナスに寄与したのは卸売・小売業、情報通信業、電気・ガス・熱供給・水道業、金融・保険業、運輸業、学習支援業の6業種。プラスに寄与したのは医療・福祉、飲食店・宿泊業、不動産業、複合サービス事業、サービス業の5業種であった。

今回のマイナスは商業販売統計などからある程度予測はされていたものの、事前の予想以上に各業種の下げが大きかった。卸売業や電気業、情報通信など8月にプラスに貢献していた産業は軒並み反落している。特に卸売業の下げは大きく、前月比寄与度▲0.7%ポイントとなった。ただこれは、企業が年に2回行っていた決算を四半期決算に切り替え出したため、9月、3月の山が小さくなってきたことにより季節調整がうまくかかっていない影響もあると考えられる。

9月の第3次産業活動指数は、天候不順からの回復により8月に続き個人消費の持ち直しが期待されていたが、低調な結果に終わった。対個人サービス業は前月比プラスになっているものの全体を牽引するほどの強さはなかった上、小売業についても小幅マイナスになっている。9月は秋冬物商品の売れ行きが良かったものの、消費全体で見ればあまり回復は見られなかった。ただし、景気ウォッチャー調査が示しているように、消費マインドそのものが低下したというわけではない。冬のボーナスについても前年比プラスが見込まれており、消費は徐々にではあるが持ち直してくると考えられる。

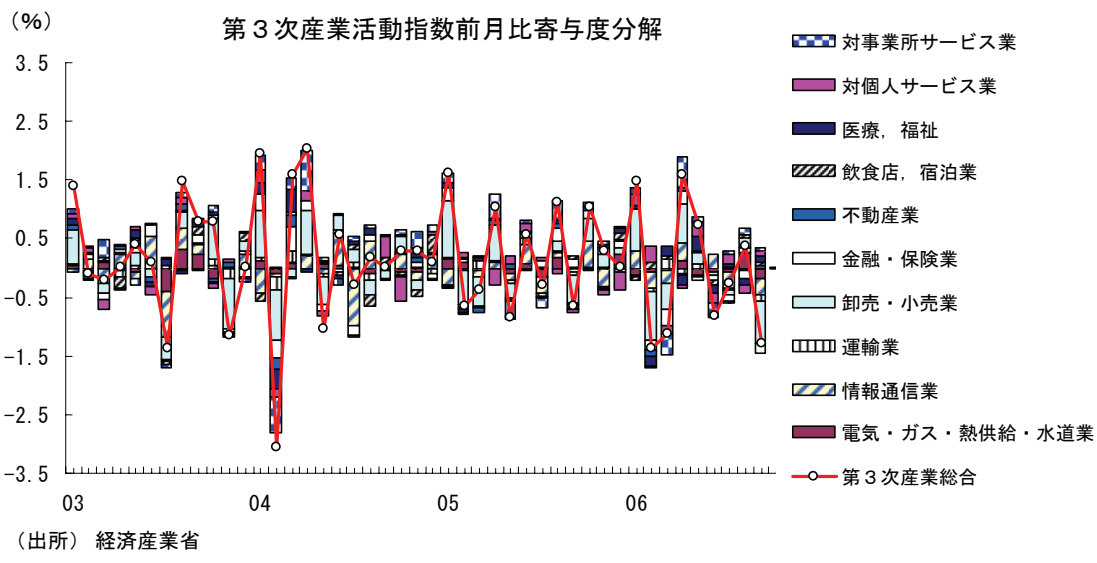
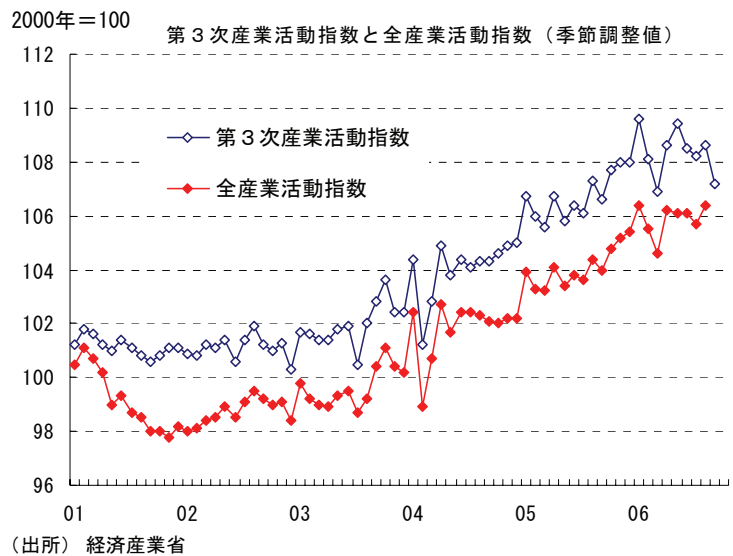
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

○ 7-9月期の第3次産業は8期ぶりのマイナスとなったが、基調に変化なしと判断

今回の結果により、7-9月期の第3次産業活動指数は前期比▲0.7%と8期ぶりに前期比マイナスに転じた。ただし、前述のように消費は今後持ち直しが見込まれることから、第3次産業活動指数の回復基調に変わりはないと判断する。

また、今回の結果を元に9月の全産業活動指数を推計すると前月比▲1.2%、7-9月期は前期比▲0.5%となる。これは7月が天候不順により振るわなかったことと、8月の持ち直しが9月まで持続しなかったことによる。今後、第3次産業活動指数は底堅く推移すると見込まれるが、鉱工業生産が緩やかに鈍化していくと見込まれていることもあり、全産業活動指数は加速感に欠ける展開が予想される。

今回の結果は、7-9月期のQ E速報が前期比+0.5%と良好な結果であることと比べると対比的ではあるが、Q Eの内需が振るわなかったという点では一致しているといえる。第3次産業活動指数同様、全産業活動指数の先行きを占う上でも、今後の消費の動向には注意していく必要があるといえよう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。